

NEWSLETTER

No.40

7 January 2008

・2007年地理学教室の行事記録	・・・1
・第7回地理ワークショップの開催	・・・2
・フィリピン・デラサール大学との国際大学交流セミナーの報告	・・・3
・2007年度地理実習の記録	・・・4
・卒業論文公開口頭試験について	・・・8
・2007年度卒業論文公開口頭試験日程	・・・8
・国土館大学地理学会費の納入について	・・・10

【2007年地理学教室の行事記録】

1月 7日	世田谷の歴史地理巡検（岡島）
2月 6日～8日	平成18年度卒業論文公開口頭試験
4月 28日	経済地理学会関東支部例会（10329教室）
4月 30日	野外生物観察会（鶴川キャンパス：磯谷）
5月 20日	野外生物観察会（生田緑地：磯谷）
5月 22日～23日	1年生地理学野外実習A
6月 9日	国土館大学地理学会（世田谷キャンパス10号館10329教室） ＜総会＞10号館10329教室 ＜講演会＞佐々木明彦先生（本学非常勤講師）「山の景観を読む」 ＜懇親会＞1号館地下（スエヒロ学生食堂）
6月 23日	日本地理学会近代日本の地域形成研究グループ集会（人文学会室）
6月 29日	平成19年度9月卒業生公開口頭試験
7月 26日～27日	第7回地理ワークショップ（10号館10201教室） 「BRICs 諸国の現在」（共催：経済地理学会） 磯谷，加藤ほか 参加者43名
8月 1日	国土館大学地理学会巡検（東京都内：長島）
10月 3日～4日	2年生地理学野外実習
10月 23日～26日	3年生地理学野外実習
12月 22日	国土館大学地理学会（於 世田谷キャンパス10号館10329教室） ＜講演会＞長島弘道先生（国土館地理学会会長・本学教授） 「持続可能な農村システムに関する研究の現状と課題」 ＜研究発表＞（実習課題報告） 池田雄斗，岩崎慶太，小林祐貴，菅原敏春，鈴木広樹，真分純也， 竹内えり・熊倉謙・井澤雄人・塩谷貴文 ＜懇親会 兼 長島弘道教授退職記念パーティー＞ （於 1号館地下（スエヒロ学生食堂）参加者 約150名

※ 長島弘道教授退職記念行事に関しては、次号 Newsletter にて詳しく報告の予定。

重要事項！必ず読むこと！

研究室、図書館から借りだしている書籍・備品は口頭試験の前（2月初旬）までに必ず返却して下さい。
4年生で未返却の者は、卒業資格を満たしていないとみなします。

【第7回地理ワークショップの開催】

「BRICs 諸国の現在」 社会科教員のための地理ワークショップ

地理学教室では、大学の研究成果や教育の成果を社会・教育界へ還元するという主旨で、主として中・高の先生方を対象に、2001年度より「地理ワークショップ」を開催してきている。第7回にあたる今年度も2007年7月26日（木）～27日（金）の2日間にわたって開催した（今年度の教室の幹事役は加藤幸治）。

これまでは、ほとんど地理学教室のスタッフ（非常勤講師を含む）のみが講師となっていたが、今年ははじめて、経済地理学会（会長・山川充夫（福島大学）、事務局・東京学芸大学）に共催いただき、学会から講師の派遣等の協力をいただいた。

テーマとしては、あらたな世界経済の成長の極として注目される BRICs 諸国（ブラジル、ロシア、インド、中国）に関する地誌とした。学会から、各国での調査経験を持つ研究者、あるいは出身者を派遣いただいた。また、教室からは同じく現地での調査経験のある磯谷准教授が講師となった。

注目されているものの、その現状等は見えにくく、ステレオタイプの理解に陥りがちである BRICs 諸国の現状はいかなるものなのか、その関心は高く、受講希望者は予定定員をオーバーしたが、できる限り参加願い、結果として、これまでで最多の受講者数（計43名）であった。

講義の詳細と講師は以下の通りであった。

	担当講義	担当者
1) ロシア	概説：ロシアの「広大さ」 人口・産業からみた移行期ロシア	小俣 利男（東洋大学）
2) ロシアの生活	移行期ロシアの社会経済地理 －ライフストーリーによる接近－	デニス・シャルピン（東洋大学・院）
3) インド	インド経済グローバル化とインド大都市	鋤塚賢太郎（琉球大学）
4) 中国	中国の経済発展と諸問題	上野 和彦（東京学芸大学）
5) ブラジル	ブラジルにおける牧場・大豆畑・バイオマス生産地の増加と地球環境問題 －アマゾンの事例を中心に－	磯谷 達宏（国土舘大学）

また、第1日目の自由参加の懇親会を開催し、講義担当者ではない教員も含め、地理学教室のスタッフ全員が参加した。長谷川均先生には懇親会係をお願いした。懇親会は中高教育界の「実情」から、参加者は必ずしも多くはなかったが、デニス・シャルピン氏にも参加いただき、講義以上に内容の濃い話も聞いた貴重な時間となった。

（加藤幸治）



今年も多くの先生に参加いただきました



小俣先生の講義



鋤塚先生には沖縄から来ていただきました



懇親会（左から磯谷、内田、長島、小俣、デニスの各先生）

【フィリピン・デラサール大学との国際大学交流セミナーの報告】

国土館大学とフィリピン・デラサール大学との2007年度の国際大学交流セミナーが、9月3日～9日の6泊7日で行なわれた。参加者は、地理・環境専攻学生10名（1年1名、2年5名（内1名は留学生）、3年3名、4年1名）と、大学院人文科学研究科修士課程院生1名、教員2名の13名であった。地理・環境専攻では、3年に一度を目途として海外研修を実施しているが、今回は、2001年のフィリピン、2004年の台湾に次いで3回目にあたる。

9月3日の早朝、成田に集合した面々はみな眠い目をこすりながら長島先生の到着を待っていた。颯爽と到着した長島先生は、例によってせっかちで人数を確認するでもなく「さあ行きましょう」であった。

フィリピンは近い。あっという間にマニラ、ニノイアキノ空港に着陸。出迎えのデ大職員の方々に迎えられ、早速宿舎へと向かった。宿舎にはデ大の学生が数人来てくれており、休む間もなく連れ添って近くのショッピングセンターへ。到着早々に巡検が始まった。

2日目からのスケジュールはタイトにして充実した毎日であった。さすがにフィリピン裏世界をみるような、あぶない状況を経験したわけではないけれど、海外遊び旅行では経験できない交流や経験をすることができたと思う。詳しいスケジュールやセミナーの内容は、「国土館大学地理学報告」の最新号を参照してほしい。これには、セミナーに参加した学生の生の声も載っている。

ともあれ、デラサール大学のお2人の教員による講義や、同世代のデ大の学生と長時間行動をとともにした経験は貴重だ。世界遺産に指定された教会、ピナトゥポ火山の災害後地への巡検、旧アメリカ海軍スービック基地の開発を現地の方の案内で見せてもらったり、アジア最大のショッピングモールでの買い物など、フィリピン通の長島先生が熟慮のうえに組み立ててくださった巡検コースに、私たちは初めてのフィリピンを、目を回しながらも堪能したのであった。

（長谷川均）



デラサール大学での講義



巡検風景



巡検風景（マングローブ林）



フィリピンを楽しむ今回の引率担当教員

【2007年度地理実習の記録】

1 年生地理学野外実習 A：5 月 22 日（火）～23 日（水）実施

◎長島・野口・内田・岡島・磯谷・加藤

実 施 地：鶴川地区～新百合ヶ丘駅周辺、町田駅周辺、横浜市寺家ふるさと村

参加学生数：78 名（男子 54 名，女子 24 名）

テ ー マ：丘陵地の自然環境と人間生活 ―映画「ラストサムライ」の間違ひを読み解く―

目 的：鶴川校舎周辺の地形、土地利用とその変化に関する調査を行い、都市化・宅地化の進行の特徴やそれにとまなう地形改編について考察することを通じて、地理調査や地理的思考法の基本を体得する。

課 題：図表を含めて 10 枚以上のレポート（「丘陵地の自然環境と人間生活」）。
提出日時 … 9 月 25 日（火）2 限 「自然地理概説 B」の授業時間



初日夜・ホテルでのミーティング
班の代表による観察事項の報告



寺家ふるさと村にて
土地利用に関する現地調査

地理学野外実習 B（2 年生対象）：10 月 3 日（火）～4 日（水）実施

◎長島

実 施 地：つくばエクスプレス沿線（千葉県流山市、柏市、茨城県つくばみらい市、つくば市）

参加学生数：11 名（男子 11 名）

テ ー マ：つくばエクスプレスの開通とその地域への影響

内 容：秋葉原駅周辺の再開発、流山おおたかの森駅周辺の開発と森林保全、柏の葉キャンパス地区周辺の開発、筑波研究学園都市の発展と今日の状況

課 題：現地での観察事項およびそれに基づいての考察を中心にレポートを作成する。
レポート形式；A4 判横書き，400 字詰め原稿用紙にして 20 枚程度（含む図表，写真）

◎野口

実 施 地：長野県霧ヶ峰高原

参加学生数：10 名（男子 6 名，女子 4 名）

テ ー マ：霧ヶ峰高原を例に，本州亜高山帯における自然環境を理解する
縄文時代から今日まで；黒曜石，狩場，採草地，スキー場，警察犬，ハイキング

内 容：1) 霧ヶ峰高原の気候学的位置づけと生態系，「風と地形→積雪と凍結融解→植生」の関係
2) 霧ヶ峰高原の地質学的・地形学的位置づけ
3) 霧ヶ峰と人的関わり

課 題：◎事前の準備 次の論文を読み，霧ヶ峰における気候環境と地形との関係を理解しておく
①岩塚守公・守屋以智雄(1965)：霧ヶ峰高原の無土器文化遺跡とそれに関係した若干の古気候地形学の問題，地学雑誌，74，239-243.
②野口泰生(1975) 霧ヶ峰高原における風の分布に及ぼす微地形の影響について，天気，22，85-94.

③野口泰生（1999）長野県中信高原・霧ヶ峰の気候環境：第二次大戦中の山岳測候所資料と最近の現地観測から，国土館大学文学部人文学会紀要，32,47-68.

◎レポートの提出について

上記3つの文献，地理実習資料，現地での説明をもとに，霧ヶ峰の植生分布に影響を与える地形・気候・人間活動などの役割を説明せよ。

◎長谷川

実施地：三浦半島・城ヶ島周辺
参加学生数：10名（男子7名，女子3名）
テーマ：三浦半島先端部の地形／地質の観察
内容：海岸地形の観察，城ヶ島で観察される様々な岩石やローム，断層などの観察と記載，クリノメータ，ハンドレベルなどの使用法を習得する。
課題：10～15枚前後のレポートの作成



長谷川班の実習中の1コマ

◎岡島

実施地：埼玉県川越市
参加学生数：6名（男子5名，女子1名）
テーマ：近世城下町川越の近現代における変遷
内容：川越市街地における現地調査，川越市立博物館・川越御殿・喜多院の見学
課題：標記のテーマについて所定の分量のレポートを作成する。なお夏休みに事前学習を行っている。

◎内田

実施地：群馬県草津町
参加学生数：9名（男子8名，女子1名）
テーマ：風景の鑑賞法と観光地に与えられた意味の解説
内容：①草津白根山の自然景観および草津温泉の人文景観を歩いて観察しながら，風景論の基礎と風景の鑑賞法について実習する
②上記の観光地の風景が，観光資源としてどのように利用されているかを実際に確かめ，その意味を記号論的視点から解説する。1. 風景論の基礎，および風景の観賞方法について実習する。
課題：レポート1：草津・白根の風景美について
レポート2：観光地の記号としての草津温泉・白根火山
以上2つのレポートを完成させる。

◎磯谷

実施地：長野県蓼科方面
参加学生数：8名（男子7名，女子1名）
テーマ：山地帯～亜高山帯の植生
内容：茅野市内から縞枯山にかけての地域でみられる植生について，組成・構造・動態・立地などの視点から調査した。
課題：提示された課題について，図表を含めて8000字相当以上のレポートを提出する。

◎加藤

実施地：東京都中央区内：八重洲通り・さくら通り・明正通り・八重洲仲通り・昭和通り，八重洲1・2丁目，日本橋3丁目，京橋1丁目，中央区立京橋図書館，中央区役所
参加学生数：10名（男子7名，女子3名）
テーマ：東京都心部における空間利用とその変化
内容：東京都心部における水平的・垂直的な空間利用について，街路別空間利用や施設分布などを，調査することを通して，都心部の空間利用パターンとその変化を捉え，それらの要因や背景を学んでいく。
課題：調査結果に関する図を作成し，調査結果にもとづいた内容についてレポートする。



加藤班の実習中の1コマ

地理学野外実習C：10月24日（火）～27日（金）実施

◎長島

実施地：仙台市および周辺地域

参加学生数：6名（男子6名）

テーマ：各人の設定したテーマ

内容例：仙台市におけるコンビニの立地，仙台市中心部における高層建築物の建設，仙台駅東口地区の土地区画整理事業，周辺地域の都市化，都市近郊地域の農業経営と人材確保，塩釜港地区の活性化

課題：実習での調査に基づいてレポートを作成する。形式は卒論作成の手引きを参考にする。枚数は400字詰め原稿用紙にしておよそ30枚（含む図表，写真）

◎野口

実施地：栃木県宇都宮市，日光市

参加学生数：6名（男子5名，女子1名）

テーマ：①日光市（旧今市市）およびその周辺における小気候調査：都市規模とヒートアイランドとの関係
②宇都宮（地方気象台）と日光（測候所）との気候環境の違い

内容：Excelを用いた高田測候所永年データのグラフ化，高田測候所の見学，朝晩の気象観測と分布図の作成，各自の観測・観察，討論

課題：1）事前の準備として，宇都宮地方気象台と日光測候所の永年データを用いてExcelで各気候要素の永年変化図を作成する。
2）各自でテーマや問題（疑問）を設定し，それについて調査・観測を行い，考察をする。レポートの書き方は，「卒業論文の手引き」に準ずる。



野口班の実習中の1コマ
気象台で説明を受ける

◎長谷川

実施地：沖縄・久米島

参加学生数：4名（男子3名，女子1名）

テーマ：サンゴ礁海岸の観察と記載

内容：離水サンゴ礁の観察と記載，サンゴ洲島，ビーチロックの観察と記載。シュミッターハンマー，GPSレシーバーなどの使用法を習得する

課題：15～20枚以上のレポートの作成



長谷川班の実習中の1コマ
久米島南端の海岸での調査

◎岡島

実施地：岡山市および周辺地域

参加学生数：6名（男子5名，女子1名）

テーマ：主として歴史地理学・交通地理学に関する地域調査

内容例：津山城下町における歴史の変遷と地域構造，丸亀城下町における変遷過程と地域構成，近世城下町備中松山の近代から現代における変遷，西大寺鉄道の事業展開と地域交通体系，片上鉄道の形成過程と歴史の変遷，岡山ネオポリス居住者の居住地移動と通勤形態，宇野バスの利用状況と競合区間での役割，吉備スマートインターチェンジについて，岡山電気軌道におけるバリアフリー施策と諸問題，岡山市の路面電車延伸計画と今後

課題：各自のテーマに従ってレポート作成

◎内田

実 施 地：札幌市とその周辺

参加学生数：11名（男子9名，女子2名）

テ ー マ：学生各自でテーマを設定し，現地調査を行う

内 容 例：札幌市における村と神社の形成，観光地でがっかりするのはなぜか？，道南における捕鯨の歴史と食文化，コンサドーレ札幌と地域社会との関わり，札幌市内の都市公園の利用，富良野における観光，子供の生活空間の構造，小樽と函館の観光イメージ，旅行者が持つ観光地のイメージの差異，真狩村における羊蹄山の地名，登別温泉の観光施設

課 題：各自設定したテーマに従って，現地で得たデータの分析結果をもとに考察を行い，「ミニ論文」を作成する。

◎磯谷

実 施 地：宮崎県宮崎市南部とその周辺

参加学生数：14名（男子11名，女子3名）

テ ー マ：宮崎県南部の生態環境

内 容 例：宮崎県南部の沿海域において，森林・草原・ほ乳類・鳥類・魚類・昆虫・緑地景観のいずれかを対象として，参加者が自ら設定した生物地理学的・緑地環境論的なテーマについて調査した。

課 題：各自のテーマについて，A4版で30枚程度（図表を含む）のレポートを作成する。

◎加藤

実 施 地：福岡県大牟田市とその周辺

参加学生数：10名（男子8名，女子2名）

テ ー マ：各自が設定したテーマにもとづいた現地調査・地域調査を行う

内 容 例：大牟田市における中心商店街の構造変化，大牟田市における中心商店街の衰退，大牟田市銀座通商店街とその周辺地域の現状，大牟田市における鉱工業の衰退と大型商業施設が地元商店街に与える影響，大牟田市のリサイクル産業の現状，大牟田市におけるコンビニエンスストアの展開と地域性，熊本県荒尾市におけるコンビニエンスストアの立地展開，荒尾市における小代焼産地の現状と将来展望

課 題：各自のテーマについて，『卒業論文の手引き』にもとづき，レポートをまとめる。

国土館大学地理学会巡検

◎第1回（引率者：長島弘道教授）：8月1日（水） 9:30～17:30 実施

実 施 地：東京中心部

（コース）都営新宿線森下駅－浜町公園－人形町－日本橋－東京駅八重洲口－丸の内－（地下鉄千代田線）－アークヒルズ－東京ミッドタウン

参加学生数：13名（男子9名，女子4名；うち2名は午前中のみ参加）

テ ー マ：明治以降東京はどのように造られてきたか。関東大震災の復興事業，高度成長期の再開発でどのような事業が行なわれたかを観察する。今日の再開発事業がどのようなコンセプトで行なわれているかについて考える。

引率者からのコメント：

晴天。隅田川にかかる橋を歩いて渡るのは全員がはじめての体験。震災復興事業の一環としての浜町公園，学校に隣接した復興小公園，埋め立てられた浜町川などの下町，新丸ビル・東京ミッドタウンなどの再開発された東京，これらを観察することを主体とした徒歩による巡検であったが，学生の足取りは軽いように思われた。東京ミッドタウンプラザでは，短いまとめの後，しばし寛いだ時間を持つことが出来た。何人かの学生は，解散後六本木ヒルズに行ったとのことである。今後は，学生が自らコースを設計し，自主巡検をすることを期待したい。

【卒業論文公開口頭試験について】

地理学教室では、卒業論文の審査が公平になされるよう各々の論文を2名の教員が閲読し、さらに公開口頭試験の結果を加味して合否を決めています。今年度も下記の通り、卒業論文の口頭試験が行われ、試験の結果から卒論の評点が決まります。試験は、持ち時間9分の口頭発表とそれに続く質疑応答です。発表者はあらかじめ卒論の要旨、図表などをまとめたレジュメを用意し、出席者に配布できるよう準備してください。また、質疑応答の際に必要な卒業論文のコピー、その他卒論作成に使用した資料や参考文献のコピーなどは、必ず持参してください（公開口頭試験の際に提示を求められる場合があります）。これらは卒論の合否が決まるまで処分しないこと。

就職が決まり、試験当日に社内研修などが予定されている4年生は、就職予定先に事情を説明し、研修欠席の手続きを済ませておくようにしてください。

なお評価の結果、優秀な卒論2編は、全国地理学専攻卒論発表大会（2008年3月中旬・東京学芸大学）で発表してもらうことになります。発表者は、2月8日中に決定し、すぐに通知します。

日 時：2008年2月6日（水）11:00～、7日（木）9:20～、8日（水）9:20～

場 所：世田谷校舎 10号館2階 10204教室（階段教室）

注意事項（よく読むこと）：

- ※ 試験時間は、1人18分（発表9分、質疑応答9分）である。発表者は発表用原稿を必ず用意し、あらかじめ発表の練習をしておくこと。発表の内容はもちろん、発表の手際や発表の態度なども審査の対象となる。（発表時の予鈴7分、本鈴9分）。
- ※ 発表に際しては、かならず以下の要領でレジュメを用意しておくこと。レジュメはワープロによって作成することが望ましい。
 1. レジュメは、論文題目、氏名、論文の要旨（目的・方法・結果を書く。字数が多くなりすぎないように、計800字程度を目安にするとよい）、説明に使用する図表によって構成する。
 2. レジュメの枚数は、A3サイズで2枚横書き（図表を含む）とし、各自40部ずつ用意する（自費でコピー：図表がカラーでないと凡例等が読み取りにくい場合はカラーコピーするか、口頭試験用に書き直すこと）。
 3. レジュメは、発表者交代の合間に当該発表者の次の発表者が配るものとする。その際、まずはじめに教員に配ること。
- ※ 発表では、スライドやOHP、PCプロジェクターも使用できる。使用希望者は事前に専攻主任（岡島）またはゼミ担当教員に申し出ること。なお、PCプロジェクターを使う場合、ノートPCは各自で用意すること。また、ディスプレイの設定等が必要なため、PCのマニュアルをよく読んで設定方法を確認し、発表までに動作確認等しておくこと。
- ※ 3年生は卒論作成の参考のため、また来年の口頭試験のためにも、全員2日以上出席すること。1,2年生もできるかぎり1日以上出席すること。

【卒業論文公開口頭試験日程】

番号	氏 名	題 目	主査	副査
2月6日（水） 11:00～12:30 <進行：磯 谷>				
501	中村 威夫	1990年以降の秋田県由利本荘市における中心商業地の変化	加藤	長島
502	松島 正信	等々力溪谷のクールアイランド現象とそれが周辺に与える影響	野口	長谷川
503	大道寺寿文	多摩丘陵北部黒川地区の谷頭凹地におけるコナラ二次林の特徴 —隣接する上部谷壁斜面と比較して—	磯谷	長谷川
505	奥村 直貴	横浜の副都心における住民参加 —上大岡を事例に—	長島	内田
507	有瀬健太郎	つくばエクスプレス開通に伴う沿線地域の変容について —柏市を中心として—	長島	岡島
13:20～15:30 <進行：加 藤>				
508	伊東 永頼	多摩丘陵北部黒川地域のコナラ二次林における南北斜面間での群 落構造の違いについて	磯谷	長谷川
509	太田小百合	山形県における芋煮食の地域性	内田	岡島

510	中村 栄仁	福岡市早良区脇山周辺におけるイノシシによる被害と共存について	磯谷	野口
511	古川 愛	住宅地地域に孤立した小規模公園における鳥類相の特徴	磯谷	長谷川
512	杉山晋一郎	つくばエクスプレス開通に伴う沿線地域の変化と影響	岡島	長島
513	伊藤 淳治	八ヶ岳周辺域における冬期の地上風系	野口	磯谷
514	三橋 育朗	東京都心地区における橋の変遷	岡島	内田

15:40～17:50 <進行：長谷川>

515	余村 貴治	バリアフリーの現状からみる天守閣がある城の整備	内田	岡島
516	島田 康弘	多摩丘陵北部黒川地区における水田畦畔草原の種組成について －日照環境の違いに着目して－	磯谷	野口
517	馬淵 幸子	伝統的町並みにおけるイメージと演出	内田	岡島
518	佐道 武文	石川県能登半島の北部における海岸砂浜草原の特徴について	磯谷	野口
520	小椋このみ	長野県松本市・安曇野市における花を含めたまちづくり	長島	加藤
524	富樫 智子	神奈川県相模原市におけるロードサイド型店舗の立地展開	加藤	内田
525	小寺 翔	埼玉県草加市における煎餅業の発達過程	加藤	長島

2月7日(木) 9:20～12:05 <進行：岡 島>

527	細谷 考司	東京都千代田区秋葉原地区におけるマニア向けショップの立地展開	内田	長島
529	瀬戸 大輔	神奈川県海陸風	野口	磯谷
531	熊崎 弘幸	バス交通による岐阜県岐阜地域の結節システムの変化	岡島	内田
532	槇塚 賢治	香川県高松港における放置艇の分布とその対策	内田	加藤
533	水谷 剛章	久米島ハテナハマ洲島における近年の海岸線変化 －オルソ空中写真による検討－	長谷川	磯谷
534	野澤 健大	分布限界域における竹林の分布とその拡大状況	磯谷	野口
535	外山 昌樹	JR蘇我駅周辺地区における地域特性の変容	加藤	長島
536	呉 亜鳴	新宿駅周辺の空間利用について －新宿2丁目・西新宿1丁目を中心として－	長島	加藤
537	兵藤 慎哉	店舗立地からみた商店街構造 一名古屋市 大須商店街を事例に－	内田	岡島

13:05～15:30 <進行：野 口>

538	根本 理美	東京都および埼玉県で発生する光化学スモッグについて	野口	長谷川
539	上村由梨果	横浜市におけるスカーフ産業の縮小と捺染工業の現況	加藤	長島
540	鷺澤 弘太	横浜市都心部の都市開発と集客力－みなとみらい21地区を中心に－	長島	加藤
541	木村 篤史	首都交通圏の私鉄における鉄道利用の様子 －東京急行電鉄田園都市線を事例として－	加藤	岡島
543	小池 友恵	作家、三浦綾子が描いた北海道 －故郷としての場所と信仰を深める場所－	内田	岡島
545	松野 隆明	地方鉄道による沿線地域における役割 －いすみ鉄道・津軽鉄道を事例として－	岡島	内田
546	佐久間 悠	東北新幹線開通後による駅前変化 －福島県福島市・郡山市を比較して－	長島	加藤
547	小東 宏彰	日産座間工場閉鎖による地域経済への影響	加藤	内田

15:40～17:50 <進行：磯 谷>

548	小倉 仁	郊外型大規模商業集積の立地が周辺地域に及ぼす影響 －FKDショッピングモール宇都宮インターパーク店を事例に－	加藤	長島
549	中村 直貴	石垣島でみられるマイクロアトールの分布の特徴 －オルソ空中写真を使った検証－	長谷川	野口
550	樋口 真広	多摩ニュータウンにおける公園の利用状況 －多摩市内ニュータウン計画の公園について－	長島	野口
552	原田 隼	台東区におけるマンガ喫茶の立地展開	加藤	内田
553	諸伏 亮介	九州の梅雨期における降水量分布の比較 －多雨年93年・小雨年94年を例に－	野口	長谷川

554	片山 哲也	住民参加によるまちづくりの手法 ー静岡県における条例をもつ市町を事例としてー	長島	岡島
555	森田 梓	埼玉県秩父盆地における山谷風について	野口	長谷川

2月8日(木) 9:20~12:05 <進行:内 田>

556	山添 啓介	町田市における衣料品小売店の立地	加藤	内田
560	鈴木 優史	東京都港区周辺の歴史的な小規模緑地における植生景観とその地域性について	磯谷	長谷川
562	飯田 雅人	観光客の変化への対応からみた伊香保温泉と草津温泉の比較	内田	岡島
566	榎本 美幸	都市域におけるニレ科高木3種の母樹および実生の分布状況	磯谷	長谷川
567	白石 大和	東京湾における特定重要港湾及び重要港湾の機能と役割の比較 ー木更津港を主体としてー	加藤	岡島
568	三浦 吉寛	千葉県富津岬における南北の海岸草原の違い	磯谷	長谷川
569	阪下 未来	小規模都市林における樹種構成と群落構造の特徴について	磯谷	野口
572	渡邊 圭祐	国道20号線日野バイパスにおいて交通量が周辺の気温に与える影響	野口	長谷川
576	片岡 陽介	流域の土地利用変化が河川に与える影響について ー埼玉県川口市旧芝川を例にー	長谷川	野口

13:05~14:35 <進行:加 藤>

579	河合 雄基	千葉県松戸市松戸駅におけるカラスの営巣木の分布とその環境について	磯谷	野口
601	水上謙太郎	上越市安塚区の地域おこし	加藤	長谷川
609	井野光太郎	高度経済成長前後の水郷地帯における水防景観の変化 ー群馬県板倉町を事例にしてー	岡島	内田
612	飯田 真仁	ブラジルの植生帯とその開発・保全についての諸研究の展望 ーセラード地域を中心としてー	磯谷	長谷川
614	伊藤 和文	神奈川県における環境保全型農業の現状と課題	長島	岡島

【国土館大学地理学会費の納入について】

下記に掲げる者は、国土館大学地理学会費（4年ぶん 12,000 円）が未納となっていますので、至急支払いください。地理学教室では4年分の会費を納めていない学生については、卒業を認めておりません。いずれ払うことになりますので、早めに納入することを勧めます。会費未納者は、必ず1月末までに郵便振替で会費を納入すること。期日内に納入しなかった者については、保護者宛てに督促状を送ります。

振替用紙は郵便局にありますので、「口座番号：00150-7-161762，加入者名：国土館大学地理学会」および通信欄に自分の学年と氏名を記入のうえ、所定の金額を窓口またはATMで振り込んでください（ATMでの振込のほうが手数料は安くなります）。

（注：疑問・質問等は会計担当の内田まで連絡して下さい。なお、上記は12月8日現在の未納者です）